

名古屋三河道路

の早期実現に向けた

要望書



令和2年10月8日

要 望 書

本県は、自動車産業を始めとした世界に誇る産業の集積地であり、製造品出荷額等は約49兆円と42年連続日本一となるなど、「**産業首都**」として**日本経済を牽引**しております。

また、東京・名古屋間で建設工事が進められているリニア中央新幹線の開業は、本県と首都圏の時間距離を大幅に短縮させ、さらに大阪までの全線開通により、三大都市圏が一体となった「**リニア大交流圏**」が誕生することとなります。そのセンターに位置する本県は、自動車産業等の基幹産業分野における**生産性の向上**に加え、**次世代産業の振興**、交流圏拡大に向けた**戦略的広域連携**、**観光の推進**など、多様な産業分野において力を発揮し、世界中から人・モノ・カネ・情報が集まる**中京大都市圏の中核としての役割**を担っていく必要があります。

地域高規格道路名古屋三河道路が貫く知多及び西三河地域は、本県の製造品出荷額等の約7割を稼ぎ出す、「モノづくりあいち」を牽引する地域であり、現在も新たな企業の立地が進む活力ある地域であります。一方で、地域内の生産拠点から名古屋港、中部国際空港へのアクセス道路となる国道23号名豊道路や国道1号などでは、渋滞が頻繁に発生し、当地域の強みであるモノづくりの生産性に大きな影響を及ぼしております。

本道路は、こうした交通課題に対応し、**名古屋港等へのアクセス性を高める**ほか、新東名、東名高速道路や名豊道路、知多半島道路、西知多道路などと一体となって都市圏内の交通円滑化を図り、さらには**リニアインパクトを広く波及**させる道路であります。また、**伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能**も担うなど、**国土強靱化**に資する極めて重要な道路であるとともに、名古屋環状2号線や東海環状自動車道の全線開通後における名古屋都市圏の更なる交通軸として、本県の発展に大いに寄与する道路であります。

これまで、本県では国の調査費補助をいただきながら、検討を進めて参りましたが、今年度より国土交通省中部地方整備局においても、名古屋港をはじめとした効率的な物流確保に向け、「**名古屋三河道路を含む名古屋都市圏環状機能強化の検討**」を実施していただけることとなり**大変感謝**しております。本県としても、本道路の早期実現が図られるよう、国の調査と連携しながら、個別路線としての検討をしっかりと進めて参ります。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 経済活動のV字回復と、物流・観光等の経済活動復興のための施策を推進すること。
2. 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策につづき、国土強靱化を継続的に実施するため、平時・災害時に安定的な人流・物流の確保に向けた高速道路等のダブルネットワークの構築も含めた次期計画を策定するとともに、必要な予算を確保すること。
3. 長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和3年度道路関係予算は、所要額を確保すること。
4. 名古屋港をはじめとした効率的な物流確保に向け、名古屋都市圏環状機能強化の検討を進めるとともに、名古屋港から岡崎市内の新東名高速道路に至る地域高規格道路「名古屋三河道路」を重要物流道路へ指定した上で、早期実現を図ること。
5. 特に、知多地域と国道23号名豊道路を結ぶ区間については、名豊道路（知立バイパス）や境川・衣浦湾周辺等における交通課題へ対応する区間となることから、優先的に取り組むこと。

令和2年10月8日

愛知県知事 大村 秀章
名古屋商工会議所会頭 山本 亜土
一般社団法人中部経済連合会会長 水野 明久



